








Cisco IP Phone 7970 シリーズ 電話ガイド for Cisco CallManager 4.2

(ライセンスおよび保証規定を含む)



電話機の一般的なタスク

電話機でオンラインヘルプを表示する	 を押します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前またはダイヤルした後にオフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。あるいは、オフフック中にナビゲーションボタンを押して、発信履歴ログを参照します。
コール中にハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コール中にスピーカまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を押して、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	[編集] <<、または >> を押します。
コールを保留および復帰する	[保留] または [復帰] を押します。
新しい番号へコールを転送する	[転送] を押し、番号を入力してから、 [転送] をもう一度押します。
標準の会議コールを開催する	[次へ] > [会議] を押し、参加者にダイヤルしてから、もう一度 [会議] を押します。



Cisco、Cisco IOS、Cisco Systems、および Cisco Systems のロゴは、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、"パートナー" という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0501R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

OL-8613-01-J



クイック リファレンス



Cisco IP Phone 7970 シリーズ 電話ガイド for Cisco CallManager 4.2

ソフトキーの定義

電話機のスクリーンのアイコン
ボタン アイコン

電話機の一般的なタスク








ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
戻る	前のヘルプ項目に戻る
割り込み	共有回線のコールに参加する
折り返し	話中の内線が応対可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更を適用せずに操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
トジル	現在のウィンドウを閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを発信する
削除	[編集] の使用時にカーソルの右側にある文字を削除する
詳細	不在履歴および着信履歴でマルチパーティ コールの詳細レコードを開く
ダイヤル	電話番号をダイヤルする
D 転送	2 つのコールを相互に転送する
編集	履歴に表示された番号を編集する
終了	現在のコールを切断する
削除	設定をデフォルトにリセットする
終了	前の画面に戻る
G ピック	別のグループで鳴っているコールに応答する



ハント	ハントグループからログアウトすることによって、ハントグループコールが電話機で鳴らないようにする
即転送	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
参加	1本の回線にある複数のコールを結合し、会議を開催する
ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する
次へ	その他のソフトキーを表示する
発信	新しいコールをかける
他 Grp	関連付けられたグループで鳴っているコールに応答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピック	自分のグループでコールに応答する
品質	コールに関する問題をシステム管理者へ送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
復帰	保留状態のコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存	選択した設定を保存する
検索	ディレクトリリストを検索する
選択	メニュー項目またはコールを選択する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ	ビデオ表示モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の先に移動する

電話機のスクリーンのアイコン





回線およびコールの状態

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	着信コール
	オフフック
	オンフック
	共有回線を使用中


安全なコール









	認証されたコール
	暗号化されたコール

重要なコール

	プライオリティ コール
	中程度のプライオリティのコール
	プライオリティが高いコール
	プライオリティが最も高いコール

選択されたデバイス

	ハンドセットを使用中
---	------------

	ヘッドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中
その他の機能	
	短縮ダイヤル ボタンが設定済み
	メッセージ受信
	ビデオが有効
	オプションが有効
	機能が有効
	電話機サービス URL が割り当て済み

ボタン アイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	スピーカ
	ミュート
	ヘッドセット



Contents

はじめに 1

このガイドの使用方法 1

その他の情報の入手先 2

Cisco 7900 シリーズ IP Phone eLearning チュートリアルへのアクセス 2

Web 上での電話機のカスタマイズに関する詳細情報 2

安全および使用における情報 3

アクセシビリティ機能 5

電話機の接続 6

電話機の概要 9

ボタンとハードウェアについて 10

タッチスクリーンの機能 13

タッチスクリーンの項目の選択 14

タッチスクリーンのクリーニングと保守 14

機能ボタンとメニューについて 15

電話機のヘルプ システムについて 16

回線とコールの違いについて 16

回線およびコールのアイコンについて 17

機能の Availability について 17

基本的なコール処理 18

コールの発信：基本的なオプション 18

コールの発信：追加オプション 19

コールへの応答	21
コールの終了	22
コールの保留と復帰	22
ミュートの使用	23
複数のコール間での切り替え	23
複数のコールの表示	24
コールの転送	25
別の電話番号へのすべてのコールの転送	27
会議コールの使用方法	28
会議コールのタイプについて	28
標準の会議の開催と参加	29
Meet-Me 会議コールの開催または参加	31
応用的なコール処理	32
短縮ダイヤル	32
自分の電話機でのリダイレクトされたコールへの応答	33
共有回線の使用	34
共有回線について	34
共有回線のコールへの参加	35
他人による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	36
パークされているコールの保存と取得	37
安全なコールの送受信	38
不審なコールのトレース	39
重要なコールの優先順位付け	40
Cisco エクステンション モビリティの使用	41
ハント グループからのログアウト	42
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	43
ヘッドセットの購入	44


自動応答の使用	44
電話機の設定の使用	45
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	45
タッチスクリーンのカスタマイズ	46
履歴およびディレクトリの使用	48
履歴の使用	48
電話機での社内ディレクトリの使用	50
ボイス メッセージへのアクセス	51
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	52
ユーザ オプション Web ページへのログイン	52
電話機サービスへの登録	54
その他の設定オプションについて	55
電話機のトラブルシューティング	57
一般的なトラブルシューティング	57
電話管理データの表示	58
Quality Reporting Tool の使用	59
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	60
索引	



はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、  を押してください。
安全情報を参照する	P.3の「安全および使用における情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.6の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.9の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンライトの意味を調べる	P.10の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
タッチスクリーンについて調べる	P.13の「タッチスクリーンの機能」を参照してください。
コールを発信する	P.18の「コールの発信:基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.22の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.23の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.25の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.28の「会議コールの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.32の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.34の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機をスピーカフォンをとして使用する	P.43の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
呼出音の音量またはトーンを変更する	P.45の「電話機の設定の使用」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.48の「履歴の使用」を参照してください。
ボイスメッセージを聞く	P.51の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を参照する	このガイドの先頭にあるクイックリファレンスカードを参照してください。

その他の情報の入手先

WWW 上の次の URL から、Cisco IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Cisco 7900 シリーズ IP Phone eLearning チュートリアルへのアクセス

Cisco 7900 シリーズ IP Phone eLearning チュートリアルは、オーディオとアニメーションを使用して、基本的なコール機能を示します。一部の電話機モデルの eLearning チュートリアルには、ご使用のパーソナル コンピュータからオンラインでアクセスできます。次の URL にあるドキュメント リストで、ご使用の電話機モデルの eLearning チュートリアル（英語のみ）を参照してください。

http://cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

Web 上での電話機のカスタマイズに関する詳細情報

Cisco IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス（コンピュータを含む）と情報を共有できるネットワーク デバイスです。Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、コンピュータで電話機サービスの設定およびカスタマイズと、電話機の機能および設定の制御を行うことができます。このガイドでは、これらの機能の概要について説明します。詳細な手順については、『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』を参照してください。このガイドは次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

安全および使用における情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。



警告

雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



警告

感電事故を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートは、いずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。

**注意**

インライン電力回路は、通信ケーブルを介して電流を供給します。シスコが提供するケーブルまたは 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。

**警告**

この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。

**警告**

この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。

**警告**

プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。

**警告**

電源装置は屋内に設置する必要があります。

**注意**

この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用

次の情報は、Cisco IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システム パフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。



注意

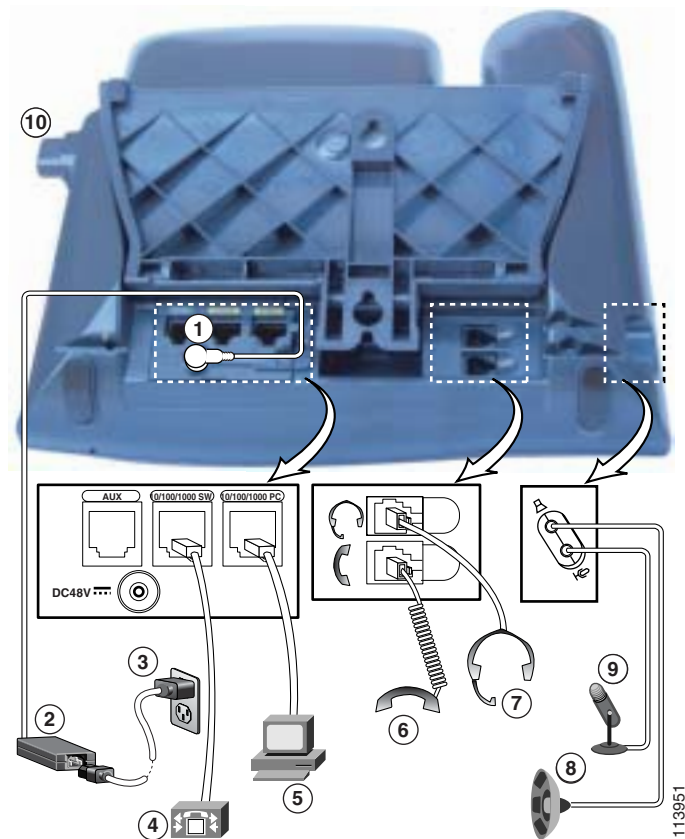
欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	ハンドセット ポート
2	AC-DC 電源装置	7	ヘッドセット ポート
3	AC 電源コード	8	将来の使用のための予備
4	ネットワーク ポート (10/100 ¹ SW)	9	将来の使用のための予備
5	アクセス ポート (10/100 ¹ PC)	10	フットスタンドボタン

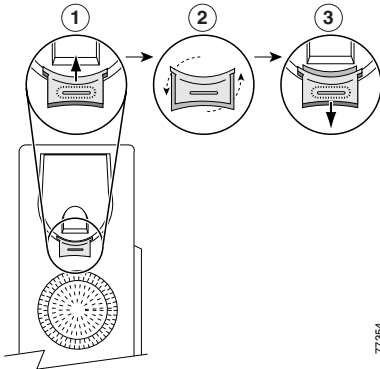
1. 電話機には 10/100/1000 と表示される場合もあります。

フットスタンドの調節

電話機本体の角度を変えるには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調節することができます。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセットポートに接続します。

シスコでは、Cisco IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストしていますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品については保証またはサポートしていません。Cisco IP Phone の設置場所により、固有の環境およびハードウェアの不整合が発生する場合があります。すべての環境に適した1つの「最良」な解決策を提供することはできません。ネットワークに大量のヘッドセットを設置する前に、ヘッドセットをテストして、お客様の環境に最適かどうかを確認することをお勧めします。

たとえば、ヘッドセットの種類によっては、機械的または電子的な原因により、Cisco IP Phone のユーザとリモートで通話している相手に、通話相手自身の声が反響して聞こえる場合があります。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、P.5 の「外部デバイスの使用」を参照してください。

ヘッドセットのサポートが Cisco IP Phone に適用されない主な理由は、ハム雑音が入る可能性です。この雑音は、リモートの通話相手のみ、またはリモートの通話相手と Cisco IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合があります。一部の雑音またはピープ音は、電灯および近くの電気モーターや大型の PC モニタなどの外的要因によって起こる可能性があります。場合によっては、ローカル電源キューブを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を低減または解消することができます。詳細については、P.4 の「外付け電源装置の使用」を参照してください。

ユーザの主観によるオーディオ品質

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音声は主観的なものであるため、シスコはヘッドセットまたはハンドセットの性能を保証できません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットおよびハンドセットは、Cisco IP Phone で使用した場合の音声が良質であることが報告されています。

これらを使用する場合でも、実際の環境で装置をテストして、性能が適しているどうかを判断するのは、最終的にお客様の責任となります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com/cisco>

電話機の概要

Cisco IP Phone 7970 シリーズは、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。















Cisco IP Phone 7970 シリーズでは、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を拡張する生産性向上機能が用意されています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機の機能とサービスに対する、ユーザ オプション Web ページを使用したオンライン カスタマイズ
- 電話機のスクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

次の図で、ご使用の電話機のボタンとハードウェアを確認してください。

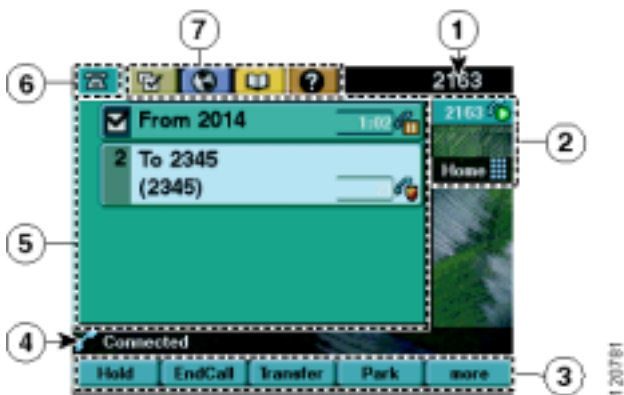


	項目	説明	詳細の参照先
1	プログラマブルボタン 	設定に応じて、プログラマブルボタンから次に示す項目にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線（回線ボタン） • 短縮ダイヤル番号(短縮ダイヤルボタン) • Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど） • 電話機の機能（プライバシー ボタンなど） 表示される回線ボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。 <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブなコール  緑、点滅：保留中のコール  オレンジ、点灯：プライバシー機能が有効  オレンジ、点滅：着信コール  赤：共有回線を使用中  赤、点滅：ダイレクト コールパークを使用中 	タッチスクリーンの機能（P.13）
2	フットスタンド ボタン 	電話機本体の角度を調節します。	フットスタンドの調節（P.7）
3	ディスプレイボタン 	タッチスクリーンをスリープ モードから戻したり、クリーニングのために無効にします。 <ul style="list-style-type: none">  色なし：入力可能な状態  緑、点滅：無効  緑、点滅：スリープ モード 	機能ボタンとメニューについて（P.15）
4	メッセージボタン 	ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします（サービスによって異なります）。	ボイス メッセージへのアクセス（P.51）
5	ディレクトリボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。履歴およびディレクトリへのアクセスに使用します。	履歴の使用（P.48）

6	ヘルプボタン 	[ヘルプ] メニューをアクティブにします。	電話機のヘルプ システムについて (P.16)
7	設定ボタン 	[設定] メニューを開閉します。これは、タッチスクリーンと呼出音の設定を変更するために使用します。	電話機の設定の使用(P.45)
8	サービスボタン 	[サービス] メニューを開閉します。	ユーザ オプション Web ページへのアクセス(P.52)
9	音量ボタン 	ハンドセット、スピーカフォン、およびヘッドセットの音量 (オフフック) および呼出音の音量 (オンフック) を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.43)
10	スピーカボタン 	スピーカフォンモードのオン / オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.43)
11	ミュートボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。ミュートがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	ミュートの使用 (P.23)
12	ヘッドセットボタン 	ヘッドセットモードのオン / オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.43)
13	ナビゲーションボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックになっている場合、発信履歴ログにある電話番号が表示されます。	履歴の使用 (P.48)
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理(P.18)
15	ソフトキーボタン 	タッチスクリーンに表示されたソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	タッチスクリーンの機能 (P.13)
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	ボイス メッセージへのアクセス (P.51)
17	タッチスクリーン	電話機の機能を表示します。	タッチスクリーンの機能 (P.13)

タッチスクリーンの機能

次の図は、メインのタッチスクリーンの外観を示しています。アクティブなコールが存在し、いくつかの機能メニューが開いた状態になっています。




1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号を表示します。
2	プログラマブルボタンインジケータ	プログラマブルボタン ^② は、電話回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話機サービスボタン、電話機機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルによって、これらのボタンがどのように設定されているかが示されます。アイコンについては、このガイドの先頭にあるクイックリファレンスカードの「電話機のスクリーンのアイコン」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーのラベルは、指で触れると選択できます。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コールアクティビティ領域	現在のコールを回線ごとに表示します。たとえば、発信者ID、通話時間、およびコールの状態などを、強調表示された回線ごとに表示します（標準の表示）。この領域の項目は、指で触れると選択できます。P.17の「回線およびコールのアイコンについて」およびP.24の「複数のコールの表示」を参照してください。
6	電話タブ	コールアクティビティを示します。このタブを押すと、必要に応じてコールアクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	開いている機能メニューをそれぞれ示します。タブは、指で触れると選択できます。P.15の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。


タッチスクリーンの項目の選択


電話機のタッチスクリーン上の項目を選択する方法は3つあります。





タッチスクリーンの項目の選択方法	操作
項目を押す	指で触れて選択できるタッチスクリーンの項目を指で押すか軽くたたきます。 タッチスクリーンを押すときは指だけを使用してください。道具を使用すると画面に傷がつくおそれがあります。電話番号を押すと、電話機でその番号がダイヤルされます。
項目番号を指定する	キーパッドで該当する番号を押します。たとえば、メニューの4番目の項目を選択するには、4を押します。
項目までスクロールする	ナビゲーションボタンを押して、項目を強調表示します。ソフトキーを押して操作を終了するか、タッチスクリーン上の項目を指で軽くたたきます。

タッチスクリーンのクリーニングと保守

ディスプレイボタン  を使用して、タッチスクリーンを無効または有効にすることができます。ディスプレイボタンの色によって、タッチスクリーンの状態の変化が次のように示されます。

 緑、点灯：タッチスクリーンはスリープモード

 緑、点滅：タッチスクリーンは無効

目的	操作
クリーニングのためタッチスクリーンを無効にする	 を1秒以上押します。  が点灯します。 スクリーンは、有効にしない限り、約1分間無効になります。
タッチスクリーンを有効にする（無効にした後）	 （点灯）を1秒以上押します。
タッチスクリーンをスリープモードから起動する	タッチスクリーンまたは任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。 システム管理者によって決められた非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープモードに入ります。このモードでは、タッチスクリーンには何も表示されず、  は点灯しています。








注意

タッチスクリーンを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用します。電話機に液体や粉末をかけないでください。電話機の部品が痛み、故障の原因となる可能性があります。







機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューを開閉します。

目的	操作
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ヘルプ  ディレクトリ  設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーションボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	タッチスクリーンで機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。タブは機能メニューが開いているときに表示されます。


電話機のヘルプシステムについて

電話機には、包括的なオンラインヘルプシステムが備わっています。ヘルプの項目はタッチスクリーンに表示されます。

目的	操作
メインメニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco IP Phone について：電話機に関する詳細• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順• コール機能：コール機能に関する説明や手順
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 を押してから、すばやくタッチスクリーンのメニュー項目を押します。または、メニュー項目を強調表示して  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 を押します。数秒待ってから  をもう一度押すか、またはメインメニューからヘルプを選択します。









回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないよう、次の説明を参照してください。

- 回線：他の人がコールを発信するために使用できる電話番号にそれぞれ対応しています。電話機は、最大 8 つの回線をサポートできます。電話機の回線を表示するには、タッチスクリーンの右側を見てください。回線の数は、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は回線ごとに 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者は必要に応じてこの数を調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.22 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.34 の「共有回線の使用」を参照してください。
	認証されたコール	P.38 の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.38 の「安全なコールの送受信」を参照してください。

機能のアベイラビリティについて





電話機のシステムの設定によっては、この電話機ガイドで示されている機能が使用できない場合や、機能が異なる場合があります。機能の操作方法またはアベイラビリティについては、社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

基本的なコール処理



一連の機能とサービスを使用して、基本的なコール処理を実行できます。機能の Availability はそれぞれ異なる可能性がありますので、詳細についてはシステム管理者に確認してください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco IP Phone でコールを発信する簡単な方法をいくつか示します。




目的	操作	詳細の参照先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号を入力します。	電話機の概要 (P.9)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.43)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合は、[発信] を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.43)
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押して最後の番号をダイヤルするか、ナビゲーションボタンを押して (電話がアイドルの状態)、[発信履歴] を表示します。	履歴の使用 (P.48)
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none">[保留] を押します。[発信] を押します。番号を入力します。	コールの保留と復帰 (P.22)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。タッチスクリーン上のリストを押します。	履歴の使用 (P.48)


ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルすることができます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してからオフフックにします。オフフックにするには、ハンドセットを取り上げるか、タッチスクリーンで番号を押すか、あるいは [ダイヤル]、、または  を押します。
- プレダイヤルすると、電話機は発信履歴ログから一致する番号（ある場合）を表示して、ダイヤルしている番号を予測しようとします。これは、自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号を押すか、その番号までスクロールしてオフフックにします。
- ダイヤル中に間違えた場合は、<< を押して数字を消去します。

コールの発信：追加オプション







電話機で利用できる特別な機能とサービスを使用して、コールを発信できます。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	詳細の参照先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（別の回線を使用）	<ol style="list-style-type: none">新しい回線の  を押します。最初のコールが自動的に保留状態になります。番号を入力します。	コールの保留と復帰（P.22）
短縮ダイヤルを使用する	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">（短縮ダイヤル ボタン）を押します。固定短縮ダイヤル機能を使用します。ファースト ダイヤル機能を使用します。	短縮ダイヤル（P.32）
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。名前を入力し、[検索] を押します。リストの項目を強調表示して、オフフックにします。	履歴の使用（P.48）

目的	操作	詳細の参照先
Cisco WebDialer を使用して、パーソナル コンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer 対応の社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。 http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ippho/index.htm
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [折り返し] を押します。 2. 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。 3. コールを再発信します。 	システム管理者
プライオリティ (Precedence) コールをかける	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.40)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > PAB service を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. リストの項目を強調表示して、オフフックにします。または、タッチスクリーン上のリスト項目を押します。 	ユーザ オプション Web ページへのアクセス (P.52)
課金コードまたはトラッキングコードを使用して発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンの後、Client Matter Code (CMC) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.41)



コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作	詳細の参照先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は押します。または、  が点灯している場合は、[応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.43)
スピーカフォンで応答する	 、[応答]、または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.43)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.22)
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	コールの保留と復帰 (P.22)
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイスメッセージへのアクセス (P.51)
コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	自動応答の使用 (P.44)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパークまたはダイレクトコールパークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.37)
電話機を使用して、別の場所で鳴っているコールに応答する	コールピックアップを使用します。	自分の電話機でのリダイレクトされたコールへの応答 (P.33)
プライオリティコールに応答する	現在のコールを切断して [応答] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.40)


コールの終了

コールを終了するには、切断します。ここでは、さらに詳細を示します。


目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または[終了]を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。または、ヘッドセット モードをアクティブにしておくには、[終了]を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または[終了]を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	[終了]を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留して復帰することができます。



目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2. [保留]を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰]を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	該当する回線の  (点滅)を押します。 この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールし、[復帰]を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールは、保留アイコンで示されます。



ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュートは、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットとともに使用できます。

目的	操作
ミュートをオンにする	 を押します。
ミュートをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

1本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、タッチスクリーンで該当するコールを押すか、そのコールまでスクロールします。

目的	操作
同じ回線で接続されたコール間で切り替える	<ol style="list-style-type: none">切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。[復帰] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。
異なる回線で接続されたコール間で切り替える	切り替え先の回線の  を押します。 回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合は、該当するコールを強調表示し、[復帰] を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。

複数のコールの表示

複数のコールが電話機でどのように表示されるかを理解することで、コール処理作業を整理しやすくなります。

標準表示モードでは、強調表示された回線のコールが電話機で次のように表示されます。




- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、まとめて表示されます。たとえば、通話したコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾にまとめて表示されます。

次の追加メソッドを使用して、複数の回線で複数のコールを表示することができます。

目的	操作
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none">①を押します。すぐに回線ボタンを押します。②
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示された回線の③を押します。</p> <p>電話機はコールの概要モードに切り替えられ、回線ごとに1つだけのコールが表示されます。表示されるコールは、アクティブなコールまたは最も長い時間保留されているコールです。</p> <p>標準の表示モードに戻るには、④を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。


目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで [転送] を押します。2. 転送先の電話番号を入力します。3. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を実行することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する(打診転送)	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで [転送] を押します。2. 転送先の電話番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を実行することもできます。</p>
通信を継続せずに2つの現在のコールを相互に転送する(直接転送)	<ol style="list-style-type: none">1. スクロールして、回線上の任意のコールを強調表示します。2. [選択] を押します。3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で[D転送]を押します(必要に応じて[次へ]を押して、[D転送]を表示します)。2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに[参加]を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。コールがボイスメッセージ グリーティングに自動転送されます。アクティブ、呼出中、または保留中であるコールで即転送を使用できます。


ヒント

- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断してコールを完了することも、**[転送]**を押してから切断することもできます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、**[転送]**をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- **[転送]**を使用して保留状態のコールをリダイレクトすることはできません。転送前にコールの保留を解除するには、**[復帰]**を押します。

別の電話番号へのすべてのコールの転送

[全てのコールの転送] を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作
プライマリ回線のコール転送を設定する	[不在] を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[不在] を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none">プライマリの電話番号の上にコール転送アイコン  が表示されている。ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
リモートまたはプライマリ回線以外でコール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインしてデバイスを選択します。[すべてのコールを別の番号に転送] を選択します。プライマリ回線またはセカンダリ回線を選択します。コールのリダイレクト先としてボイス メッセージまたは別の番号のいずれかを選択します。

 **(注)** コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替として、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。P.52 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできませんが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- この機能は回線ごとに設定する必要があります。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

会議コールの使用方法

Cisco IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 つ以上の個別のコールを結合して、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の会議と Meet-Me 会議の 2 種類があります。

標準の会議コール

標準の会議は、必要性和電話機で使用できるソフトキーに応じて、次に示す方法で開催できます。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに 1 つの回線にある複数のコールに参加することによって、標準の会議コールを開催するときに使用します。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加して、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ使用できます。

手順の詳細については、P.29 の「標準の会議の開催と参加」を参照してください。


Meet-Me 会議コール

Meet-Me 会議は、指定の時間に Meet-Me 電話番号をダイヤルすることによって作成できます。

手順の詳細については、P.31 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の会議では、1つのコールに3名以上の人々が参加できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> 参加者にコールを発信して会議を開催する 既存の会議に新規参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールで [会議] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] を表示します)。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールが接続されるのを待ちます。 4. 参加者をコールへ追加するには、[会議] をもう一度押します。 5. この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。
2つ以上の既存のコールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 単一の回線に2つ以上のコールがあることを確認します。 2. 会議に追加するコールを強調表示します。 3. [選択] を押します。 選択したコールにアイコン <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 4. 追加するコールごとにこのプロセスを繰り返します。 5. 選択したコールのいずれかで、[参加] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します)。 <p> (注) アクティブなコールが自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	共有回線でコールを強調表示し、 [C 割込] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、 [C 割込] を表示します)。 P.34 の「共有回線の使用」を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [参加者] を押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者 (名前の横にアスタリスク (*) の付いた人物) を検索します。



目的	操作
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議の任意の参加者を削除する	1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [削除] を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または [終了] を押します。

ヒント

- コールを会議に追加するには、それらのコールが同じ回線上にある必要があります。コールが異なる回線上にある場合は、[**会議**] または [**参加**] を使用する前に、それらのコールを 1 つの回線に転送します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を作成した後で切断すると、その会議が終了する場合があります。これを避けるには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議を使用すると、会議番号をダイヤルすることによって会議を開催または会議に参加することができます。

目的	操作
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。2. 番号を参加者に配布します。3. 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにして、ダイヤルトーンが聞こえてから [ミートミー] を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 参加者は、ダイヤルすることによって会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が参加する前に参加者が会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はコールを再発信する必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p> (注) 開催者が参加する前に会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合は、コールを再発信します。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。



短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用すると、インデックス番号を入力する、ボタンを押す、または電話機のスクリーンの項目を選択することによって、コールを発信できます。電話機は、設定に応じて、次の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル機能
- ファースト ダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤル機能を設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.52 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。
 - あるいは、システム管理者が代わりに短縮ダイヤル機能を設定することもできます。


目的	操作
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページで短縮ダイヤル ボタンを設定します。2. コールを発信するには、 (短縮ダイヤル ボタン) を押します。
固定短縮ダイヤル機能を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページで固定短縮ダイヤル機能コードを設定します。2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル機能コードを入力して、[短縮] を押します。
ファースト ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ファースト ダイヤル サービスに登録し、ユーザ オプション Web ページでファースト ダイヤル コードを設定します。P.54 の「電話機サービスへの登録」を参照してください。2. コールを発信するには、電話機で  > [ファースト ダイヤル] (名前は異なる場合があります) を選択してから、リストを強調表示してオフフックにします。または、タッチスクリーン上のリスト項目を押します。

自分の電話機でのリダイレクトされたコールへの応答

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることで応答できます。コール処理を同僚と共有する場合は、コール ピックアップを使用すると便利です。

目的	操作
コール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[ピック]ソフトキーが使用できる場合は、それを押します。[ピック]ソフトキーが使用できない場合は、オフフックにして [ピック]を表示してから、それを押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答]を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[G ピック]ソフトキーを使用できる場合は、それを押します。[G ピック]ソフトキーが使用できない場合は、オフフックにして [G ピック]を表示してから、それを押します。グループ ピック コードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答]を押してコールに接続します。
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[他 Grp]ソフトキーを使用できる場合は、それを押します。[他 Grp]ソフトキーが使用できない場合は、オフフックにして [他 Grp]を表示してから、それを押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答]を押してコールに接続します。

ヒント

- 電話機の設定に応じて、ピックアップグループへのコールに関するメッセージが表示されたり、呼出音が鳴ったりします。
- [**ピック**]および [**G ピック**]を押すと、一番長く鳴り続けているコールに接続します。
- [**他 Grp**]を押すと、プライオリティが一番高いピックアップグループのコールに接続します。
- 回線が複数あり、プライマリ回線以外でコールに応答する場合は、まず、該当する回線の  を押してから、コール ピックアップのソフトキーを押します。


共有回線の使用

次の場合は、共有回線を使用するようシステム管理者から求められることがあります。

- 電話機が複数あり、電話番号を1つだけ使用したい場合
- コール処理タスクを同僚と共有する場合
- マネージャの代わりにコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコンは、回線を共有する別の電話機にコールが接続されている場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有する電話機は、共有回線で発信および受信されたコールに関する情報を表示します。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、「プライバシー」の節を参照してください）。

コール情報がこのように表示されることで、回線を共有する同僚や自分が、[**割り込み**]または[**C 割込**]を使用して、自分自身をコールに追加できます。P.35の「共有回線のコールへの参加」を参照してください。

プライバシー




自分のコールに関する情報を、回線を共有している同僚に見られないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能により、同僚が自分のコールに割り込むのを防ぐこともできます。P.36の「他人による共有回線のコールの表示および割り込みの防止」を参照してください。



(注) 共有回線がサポートするコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定によって、[割り込み] または [C 割込] を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できる場合があります。







目的	操作
共有回線が使用中かどうかを確認する	赤い回線ボタン  の横に、リモートで使用中のアイコン  があるかどうか探します。
共有回線における現在のコールの詳細を表示する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  を押します。プライベートコール以外はすべてタッチスクリーンのコールアクティビティ領域に表示されます。
[割り込み] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール（リモートで使用中）を強調表示します。 2. [割り込み] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割り込み] を表示します）。 他の参加者に対して自分の存在を知らせるピーブ音が鳴ります。
[C 割込] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール（リモートで使用中）を強調表示します。 2. [C 割込] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[C 割込] を表示します）。 他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話機のスクリーンのコール情報が変更されます。
割り込みしたコールに会議の新しい参加者を追加する	<p>[C 割込] が使用できる場合はそれを使用してコールに割り込みます。</p> <p>[C 割込] は、[割り込み] と異なり、コールを標準の会議コールに変換するので、新しい参加者を追加することができます。P.28 の「会議コールの使用方法」を参照してください。</p>
割り込みしたコールを終了する	<p>切断します。</p> <p>[割り込み] を使用した後でコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールが続行します。</p> <p>[C 割込] を使用した後でコールを切断すると、回線に 3 名以上の参加者が残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- 共有回線を使用している電話機でプライバシー機能を有効にしている場合、コール情報と割り込みのソフトキーは、回線を共有しているその他の電話機に表示されません。
- コールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、[割り込み] を使用して参加していたコールから切断されます。

他人による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有している場合は、プライバシー機能を使用して、回線を共有する他人が共有回線のコールを表示したりコールに割り込み（コールに彼ら自身を追加）したりできないように防止できます。

目的	操作
他人が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりできないようにする	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知]のを押します。2. プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタンの横にあるプライバシー機能有効アイコンを確認します。
他人が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりできるようにする	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知]のを押します。2. プライバシー機能がオフになっていることを確認するには、消灯している回線ボタンの横にあるプライバシー機能無効アイコンを確認します。

ヒント







- 自分の回線を共有している電話機がプライバシー機能を有効にしている場合、通常どおり共有回線を使用してコールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、自分の電話機のすべての共有回線に適用されます。その結果、複数の共有回線がある状態でプライバシー機能を有効にすると、同僚は自分のすべての共有回線のコールを表示またはコールに割り込みできなくなります。
- コールを保留にすると、プライバシー機能が有効になっていても、共有回線表示に発信者の名前と番号（発信者 ID）が表示されます。システム管理者はこの設定を変更して、プライバシー機能が有効になっている場合は保留されたコールの発信者 ID 情報が表示されないようにすることができます。ただし、その場合、コールの保留に使用された電話機からしかコールを取得できません。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco CallManager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク:[**パーク**]ソフトキーを使用して、コールを保存します。電話機に、システムがコールを保存したコールパーク番号が表示されます。この番号を記録しておき、同じ番号を使用してコールを取得する必要があります。
- ダイレクトコールパーク:[**転送**]ソフトキーを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルする特定のダイレクトコールパーク番号へコールを転送します。ダイレクトコールパーク番号からコールを取得するには、コール取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクトコールパーク番号をダイヤルまたは短縮ダイヤルします。

ダイレクトコールパークボタンを使用すると、ダイレクトコールパーク番号を短縮ダイヤルしたり、ダイレクトコールパーク番号が使用中か空いているかを監視したりできます。

目的	操作
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に、[パーク]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[パーク]を押します）。2. 電話機のスクリーンに表示されたコールパーク番号を書き留めます。3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意のCisco IP Phone でコールパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクトコールパーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に、[転送]を押します2. パーク空きアイコンが表示されているときに（ダイレクトコールパークボタン）を押し、ダイレクトコールパーク番号を短縮ダイヤルします。点滅しているダイレクトコールパークボタンとパーク使用中アイコンは、ダイレクトコールパーク番号が使用不可であることを意味します。3. [転送]をもう一度押して、コールの保存を終了します。
パークされたコールをダイレクトコールパーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の電話機で、パーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。あるいは、パーク取得プレフィックスを入力した後、パーク使用中アイコン  が表示された状態で  （ダイレクトコールパークボタン）を押します。

ヒント

- パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



- システム管理者は、電話機または Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914 上の使用可能な回線ボタンにダイレクトコールパークボタンを割り当てることができます。
- 電話機にダイレクトコールパークボタンがない場合は、ダイレクトコールパーク番号をダイヤルできます。ただし、ダイレクトコールパーク番号の状態を見ることはできません。


安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- 認証されたコール：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- 暗号化されたコール：電話機が Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- ノンセキュアコール：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	操作
コールのセキュリティレベルを確認する	<p>コールアクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティアイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <p> 認証されたコール</p> <p> 暗号化されたコール</p> <p>コールがノンセキュアの場合は、いずれのセキュリティアイコンも表示されません。</p>
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。

 **(注)** 電話機でのセキュリティ機能の動作に影響を与える相互作用、制限、および限定事項があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] を押します。 電話機はトーンを再生し、「迷惑呼が成功しました」というメッセージを表示します。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。



目的または状態	操作または状態の説明
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な (通常より速い) 呼出音または特別なコール待機のトーンが聞こえる	プライオリティ (Precedence) コールを受信しています。電話機のスクリーンの MLPP アイコンが、コールのプライオリティレベルを示します。
コールのプライオリティレベルを表示する	電話機のスクリーンの MLPP アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none">■ プライオリティ コール■ 中程度のプライオリティの (即時) コール■ プライオリティの高い (フラッシュ) コール■ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コールまたはエグゼクティブ オーバーライド コール プライオリティの高い順に、コールのリストの先頭から表示されます。MLPP アイコンが表示されない場合、プライオリティレベルは普通 (日常) です。
プライオリティの最も高いコールを受ける	通常どおりコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブなコールを終了します。
コールを中断する音が連続的に聞こえる	自分または他の参加者が、現在のコールに優先すべきコールを受信しています。すぐに切断して、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機は、電話回線、機能、設定されたサービス、Web ベースの設定などのユーザ プロファイルを採用します。EM は、システム管理者に設定してもらう必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1.  > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. (システム管理者から提供された) ユーザ ID と PIN を入力します。3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1.  > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトするよう求めるプロンプトが表示されたら、Yes を押します。

ヒント

- EM を使用すると、一定の時間が経過した後で自動的にログアウトします。この時間制限は、システム管理者によって設定されます。
- ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、次に電話機で EM にログインしたときに有効になります。
- 電話機でのみ制御される設定は、EM プロファイルには保持されません。

ハント グループからのログアウト

所属している組織が大量の着信コールを受信する場合は、ハント グループのメンバーになることができます。ハント グループには、着信コールのロードを共有する一連の電話番号が含まれています。ハント グループ内の最初の電話番号が話し中である場合、システムはグループ内で次に使用可能な電話番号を探し、コールをその電話機に転送します。

電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループコールが電話機で鳴らないようにできます。









目的	操作
ハント グループからログアウトして、ハント グループ コールを一時的にブロックする	[ハント]を押します。電話機のスクリーンに「ハントグループからログアウトしています」と表示されます。
ログインしてハント グループ コールを受信する	[ハント]を押します。

ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは電話機で鳴ります。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機では、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンを使用できます。




目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。
ヘッドセットを使用する	ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えるには、  を押しします。自動応答を使用する場合は、例外について P.44 の「自動応答の使用」を参照してください。 ヘッドセットの使用中は、  や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。
スピーカフォンを使用する	スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えるには、  を押しします。 ハンドセットが受け台に置かれていて、  が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに应答すると、通常はスピーカフォン モードが自動的に有効になります。
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コール中に(スピーカフォンまたはヘッドセットから)ハンドセットに切り替える	ボタンは何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押しします。 このアクションにより、使用しているデバイス(ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセット)のボリュームが調節されます。 [保存] を押して、将来のコールのために音量レベルを保存します。

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が4本または6本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.8の「ヘッドセットについて」を参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効になっている場合は、呼出音が1～2回鳴った後で電話機が着信コールに自動的に応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合は、自動応答を使用すると便利です。



目的	操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>通話中以外も、ヘッドセットモードを有効（つまり、が点灯している状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセットモードを有効にするには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [終了]を押して切断します。• [発信]または[ダイヤル]を押して、新しいコールを発信します。 <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されていると、が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。点灯していない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴り、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセットモードを無効（が消灯している状態）にしておきます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

電話機の設定の使用

呼出音のトーン、背景イメージ、およびその他の設定を調節することによって、Cisco IP Phone を個人設定できます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールおよび新しいボイス メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。電話機の呼出音の音量を調節することもできます。







目的	操作
呼出音のトーンを回線ごとに変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。3. 呼出音のタイプを選択してそのサンプルを再生します。4. [選択] と [保存] を押して呼出音のトーンを設定するか、[キャンセル] を押します。
回線ごとに呼出音のパターン (点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど) を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインしてデバイスを選択します。P.52 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。2. [電話の呼び出し音設定を変更] を選択します。
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、  を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインしてデバイスを選択します。P.52 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。2. [メッセージ受信のランプポリシーを変更] を選択します。



ヒント

- ユーザ オプション Web ページから [電話の呼び出し音設定を変更] 項目にアクセスする前に、必要に応じて、システム管理者がこのオプションを有効にします。
- 通常は、ハンドセットにあるボイス メッセージのランプに関するデフォルトのシステム ポリシーに従って、新しいボイス メッセージを示すランプが常に電話機で点灯します。


タッチスクリーンのカスタマイズ

タッチスクリーンの設定は変更できます。

目的	操作
タッチスクリーンの明るさを変更する	<ol style="list-style-type: none"> > [ユーザ設定] > [明るさ] を選択します。明るさを調節するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。[保存] を押すか、[キャンセル] を押します。
タッチスクリーンの表示角度を調節する	<ol style="list-style-type: none"> > [ユーザ設定] > [表示角度] を選択します。表示角度を調節するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。[保存] を押すか、[キャンセル] を押します。
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none"> > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。使用可能なイメージをスクロールし、[選択] を押してイメージを選択します。背景イメージをより大きく表示して確認するには、[プレビュー] を押します。選択メニューに戻るには、[終了] を押します。[保存] を押して新しいイメージを受け入れるか、[キャンセル] を押します。
タッチスクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none">ユーザオプション Web ページにログインしてデバイスを選択します。P.52 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。[この電話のロケールを変更] を選択します。
電話回線のテキスト ラベルを作成する	<ol style="list-style-type: none">ユーザオプション Web ページにログインしてデバイスを選択します。P.52 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。[電話の回線テキスト ラベルを変更] を選択します。
	<p> (注) システム管理者に、この機能へのアクセスを可能にしてもらう必要があります。</p>





目的	操作
タッチスクリーンを有効または無効にする	P.15 の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。
Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914 のコントラストを調節する（適切な場合）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。 2. コントラストを調節するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。 3. [保存] を押すか、[キャンセル] を押します。



履歴およびディレクトリの使用

この節では、履歴およびディレクトリの使用方法を説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリボタン  を使用します。

履歴の使用

電話機は、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴を管理します。

目的	操作
履歴を表示する	 > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件までのレコードを保存できます。切り捨てられているリストを表示するには、それを強調表示して [編集] を押します。
履歴を削除する	 を押してから、[クリア] を押します。この操作により、すべての履歴のすべてのレコードが削除されます。
履歴からダイヤルする(別のコールで使用されていないとき)	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. 履歴からコールのレコードを強調表示します。  (注) [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリ エントリです。次に示す「ヒント」を参照してください。 <ol style="list-style-type: none">3. 表示された番号を編集する必要がある場合は、[編集] を押してから << または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押してから [削除] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します)。4. コールを発信するには、オフフックにします。

目的	操作
履歴からダイヤルする(別のコールに接続されているとき)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. 履歴からコールのレコードを強調表示します。 <p> (注) [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリ エントリです。次に示す「ヒント」を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合は、[編集] を押してから << または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押してから [削除] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します)。 4. [ダイヤル] を押します。 5. 元のコールを処理するメニュー項目を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [保留]: 最初のコールを保留にして、2 番目のコールをダイヤルします。 • [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します)。 • [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します)。 • [終了]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。



ヒント

マルチパーティ コール of 完全な履歴を表示するには、[詳細] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順にリストされます。

- 最初に記録されるエントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最後に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目に記録されるエントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最初に完了したコールの名前と番号です。

電話機での社内ディレクトリの使用


設定に応じて、電話機は、同僚へのコールの発信に使用する社内ディレクトリにアクセスすることもできます。社内ディレクトリは、システム管理者がセットアップし、保守します。

目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールで使用されていないとき）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、完全な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。3. ダイヤルするには、ダイヤルするリスト項目を選択するか、リスト項目までスクロールしてオフフックにします。
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、完全な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。3. リスト項目までスクロールし、[ダイヤル] を押します。4. 元のコールを処理するメニュー項目を次のいずれかから選択します。<ul style="list-style-type: none">• [保留]: 最初のコールを保留にして、2 番目のコールをダイヤルします。• [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。• [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。• [終了]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。

ヒント




電話機のスクリーンで文字を入力するには、キーパッドの番号を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機でナビゲーションボタンを使用します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を使用します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されません。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスを個人設定する	 を押し、音声の指示に従います。 タッチスクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。
新しいボイスメッセージの着信を確認する	次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。P.45 の「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください）• メッセージ受信アイコン  の点滅、およびタッチスクリーンのテキストメッセージ
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージメニューにアクセスする	 を押します。 このボタンを押すことにより、メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、またはタッチスクリーンにメニューが表示されます。この動作は、お使いのボイス メッセージ サービスによって異なります。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。 即転送機能により、コール（呼び出し中または保留状態のコールを含む）がボイス メッセージ システムに自動転送されます。発信者はボイス メッセージの内容を聞いて、メッセージを残すことができます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

Cisco IP Phone はネットワーク デバイスのため、社内の他のネットワーク デバイスと情報を共有することができます。この中には、自分のコンピュータやそこから Web ブラウザを使用してアクセスできる Web ベースのサービスも含まれます。

Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、コンピュータで電話機サービスの設定と、設定や機能の制御を行うことができます。Web ページで機能とサービスを設定しておく、電話機でアクセスできるようになります。

たとえば、Web ページで短縮ダイヤル ボタンを設定すると、電話機でアクセスできるようになります。

この項では、ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法と、電話機サービスへの登録方法について説明します。設定可能な機能と、登録可能な電話機サービスの詳細については、『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

ユーザ オプション Web ページへのログイン

手順

ステップ 1 ユーザ オプション ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。

ステップ 2 コンピュータで Web ブラウザを起動し、システム管理者から提供された URL を入力してログインします。

ステップ 3 総合メニューのデバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイス タイプ（電話機のモデル）を選択します。

選択したデバイス タイプに対応したオプションが、コンテキスト メニューに表示されます。

ユーザ オプション ページのナビゲートに関するヒント

- 該当するオプションをすべて表示するには、メニュー ページでデバイスを選択します。
- 変更内容を適用して保存するには、[**更新**] をクリックします。
- コンテキスト メニューに戻るには、[**メニューに戻る**] をクリックします。
- ユーザ オプション ページを終了するには、[**ログオフ**] をクリックします。



電話機サービスへの登録

電話機から登録電話サービスにアクセスするには、まずコンピュータでユーザ オプション Web ページにアクセスし、電話サービスに登録する必要があります。ログインについては、P.52 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

電話機サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話機の機能（個人ファースト ダイヤル、個人アドレス帳など）

詳細については、次の表を参照してください。

目的	ログインしてデバイス タイプを選択した後の操作
サービスに登録する	メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。[使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。指示に従って情報（郵便番号や PIN など）を入力し、[登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。[登録されているサービス] パネルのサービスをクリックします。登録内容を変更して [更新] をクリック、または [登録解除] をクリックします。
サービスをプログラマブル ボタンに追加する	サービスを登録した後、メイン メニューから [サービス URL ボタンの追加または更新] を選択します。利用可能なボタンごとに、ドロップダウン リストからサービスを選択し、説明のテキストを入力します。変更が終わったら、[更新] をクリックします。サービスに利用可能なプログラマブルボタンの数は、システム管理者が決定します。また、電話機へのサービスボタンの割り当ても、システム管理者が行う場合があります。
電話機からサービスにアクセスする	電話機の  を押します。または、プログラマブル ボタン  にサービスを追加している場合は、そのボタンを押します。
電話機サービスの使用方法を確認する	^① Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。 http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
自分の電話回線で処理できるコールを増やす必要がある	回線でサポートされるコールの追加をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル ボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用、またはファースト ダイヤル サービスへの登録を試行してください。 別の方法として、電話機に Cisco IP Phone 7914 拡張モジュールを接続することもできます。	次の説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none">短縮ダイヤル (P.32)電話機サービスへの登録 (P.54)『Cisco IP Phone 7914 拡張モジュール電話ガイド』
秘書と仕事をしている (または自分が秘書である)	次の機能の導入を検討してください。 <ul style="list-style-type: none">Cisco IP Manager Assistant共有回線	次を参照してください。 <ul style="list-style-type: none">共有回線の使用 (P.34)『Cisco IP Manager Assistant ユーザガイド』



目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使うことができます。	P.34の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク: 転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ: 別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線: 同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ: 共有の Cisco IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.32) • 共有回線の使用 (P.34) • Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.41)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機への自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。	P.44の「自動応答の使用」を参照してください。
ビデオ コールを発信する必要がある	Cisco VT Advantage の使用を検討してください。これを使用することにより、Cisco IP Phone、パーソナル コンピュータ、および外部ビデオ カメラを使用して、ビデオ コールを発信できるようになります。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco VT Advantage クイックスタートガイド』および『Cisco VT Advantage ユーザガイド』を参照してください。
共有の Cisco IP Phone に自分の電話番号と設定を一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	P.41の「Cisco エクステンション モビリティの使用」を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この節では、Cisco IP Phone のトラブルシューティングについて説明します。

一般的なトラブルシューティング





この節では、電話機での一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤルトーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の要因のうち 1 つ以上に該当している場合があります。 <ul style="list-style-type: none">• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要がある。• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code または Forced Authorization Code を入力する必要がある。• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できない。
設定ボタンが反応しない	システム管理者が電話機で  を無効にしている可能性があります。
電話機のスクリーンに何も表示されない	一定の非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープモードに入ります。タッチスクリーンを押すか、ハンドセットを取り上げるか、  など任意のボタンを押すと、タッチスクリーンは起動します。P.15 の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。
使用するソフトキーが表示されない	次の要因のうち 1 つ以上に該当している場合があります。 <ul style="list-style-type: none">• [次へ] を押して、その他のソフトキーを表示する必要がある。• 回線の状態を変更する必要がある (たとえば、オフフックにするか、接続コールを持つ)。• そのソフトキーに関連付けられた機能をサポートするように電話機が設定されていない。

症状	説明
[参加] が失敗する	[参加] を使用するには、複数のコールが選択されている必要があります。自動的に選択されるアクティブなコールのほかに少なくとも1つのコールが選択されていることを確認してください。また、[参加] を使用するには、選択したコールが同じ回線にある必要があります。必要に応じて、コールに参加する前にそれらを1つの回線に転送してください。
[割り込み] が失敗し、速いビジー音が再生される	使用している電話機が暗号化用に設定されていない場合は、暗号化されたコールに割り込みできません。このことが原因で割り込みに失敗すると、電話機は速いビジー音を再生します。
[割り込み] を使用して参加したコールから切断される	コールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、[割り込み] を使用して参加していたコールから切断されません。
Cisco CallBack が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話管理データの表示

トラブルシューティングのため、電話機の管理データにアクセスするようシステム管理者から求められる場合があります。

目的	操作
ネットワーク設定データにアクセスする	 > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク設定の項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

Quality Reporting Tool の使用

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするため、システム管理者によって一時的に電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定される場合があります。[品質] を押すと、情報をシステム管理者に送信できます。設定に応じ、QRT を使用して、次の処理を実行します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐに報告する
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約書を含む正式な保証書は、Cisco.com から入手できます。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet* および保証書とライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	



Index

C

Cisco IP Phone

- 接続 6
- 登録 7
- トラブルシューティング 57
- ~の Web ベースのサービス 52
- ~のオンライン ヘルプ 16
- ~の機能設定 17, 55
- ~の図 10
- ~の高さの調節 7
- ~のマニュアル 2
- ハンドセット受け台の固定 7

C 割込

- 使用 35
- 「割り込み」も参照

M

- Malicious Call Identification (MCID) 39
- Meet-Me 会議 28, 31
- MLPP、使用 40

Q

- QRT、使用 59

T

- TAPS 7
- Tool for Auto-Registered Phones Support 7

W

- WebDialer 20

あ

- アイコン、コール状態の 17
- 暗号化されたコール 38
- 安全上の、警告 3
- 安全なコール 38

え

- エクステンション モビリティ
 - ログアウト 41
 - ログイン 41

お

- 折り返し 20
- オンフック ダイヤル 19
- オンライン ヘルプ、使用 16
- 音量ボタン 12

か

会議コール

Meet-Me 28, 31

標準 28, 29

回線

~の説明 16

表示 13

回線ボタン 11

き

キーパッド 12

機能タブ 13

機能の Availability 17, 55

機能ボタン

サービス 12

設定 12

ディレクトリ 11

ヘルプ 12

メッセージ 11

機能メニュー 15

共有回線

およびリモートで使用中のアイコン 34

~の説明 34

プライバシーでの 36

割り込みでの 35

く

グループのコールピックアップ 33

け

警告、安全上の 3

こ

コール

安全な 38

応答 21

回線ごとの最大数 16

回線と比較 16

終了 22

転送 25, 27

~に関する問題を報告 59

~のアイコン 17

~の会議機能 28

~の複数の参加者 28

パーク 37

発信 18, 19

表示 13, 24

複数を処理 23

保存と取得 37

保留と復帰 22

ミュート 23

優先順位付け 40

呼び出し中にリダイレクト 21, 33

コール アクティビティ領域 13

コール パーク 37

コール ピックアップ 33

コール処理、応用的な 32

コール処理、基本的な 18

コール待機 21

コール転送 27

コールの概要モード 24

コールの切り替え 23
 コールの終了のオプション 22
 コールの転送のオプション 27
 コールの発信のオプション 18, 19
 コールの優先順位付け 40
 コールへの応答 21
 個人アドレス帳 (PAB)
 ~ からダイヤル 20
 ~ への登録 54
 固定短縮ダイヤル機能 32

さ

サービスへの登録 54
 サービスボタン 12

し

自動応答 44
 自動ダイヤル 19
 社内ディレクトリ
 ~ の Web ページからダイヤル 20

す

ステータス データ、検索 57
 ステータス行、表示 13
 スピーカフォン
 使用 43
 ~ でコールに応答 21
 ~ でコールを発信 18
 ~ のボタン 12
 ~ を使用して切断 22
 スリープ モード、タッチスクリーンの起動 14

せ

切断のオプション 22
 設置、Cisco IP Phone 6
 設定、カスタマイズ 45
 設定ボタン 12

そ

ソフトキーボタン
 ~ の説明 12
 ~ のラベル 13

た

ダイヤルのオプション 18, 19
 ダイレクト コール パーク 37
 タッチスクリーン
 クリーニング 14
 言語の変更 46
 コントラストの調節 46
 スリープ モード 14
 ~ の機能 13
 無効化と有効化 14
 短縮ダイヤル
 使用 19
 設定 32
 ~ のボタン 11
 ラベル 13

ち

着信履歴のレコード 48

て		発信履歴のレコード	48
ディスプレイボタン	11, 14, 15	ハントグループ、ログアウト	42
ディレクトリ		ハンドセット	
電話機で使用	48	受け台に固定	7
~のWebページからダイヤル	20	使用	43
ディレクトリボタン	11	ライトストリップ	12
転送のオプション	25		
電話回線		ふ	
~の説明	16	ファーストダイヤルサービス	
~のボタン	11	設定	32
表示	13	~への登録	54
電話タブ	13	~を使用してダイヤル	20
		複数のコール、処理	23
と		不在履歴のレコード	48
トラブルシューティング	57	不審なコール、トレース	39
		復帰、使用	22
な		フットスタンド	
内線番号、表示	13	調節	7
ナビゲーションボタン	12	~のボタン	11
		プライバシー	
に		および共有回線	34
認証されたコール	38	使用	36
		プレダイヤル	19
ね		プログラマブルボタン	
ネットワーク設定データ、検索	57	~の説明	11
		~のラベル	13
は		へ	
発信者ID	13	ヘッドセット	
		使用	43
		~でコールに応答	21
		~でコールを発信	18

- ~のボタン 12
 - ~を使用して切断 22
- ヘッドセットの性能、一般的な 8
- ヘルプ、使用 16
- ヘルプボタン 12, 24

- ほ
- ボイス メッセージ サービス 51
- ボイス メッセージのインジケータ 51
- ボタン、識別 10
- 保留
 - ~ およびコールの切り替え 23
 - および転送 25
 - 使用 22

- ま
- マニュアル、アクセス 2

- み
- ミュート、使用 23
- ミュートボタン 12

- め
- メッセージ
 - ~のインジケータ 45, 51
 - ~を聞く 51
- メッセージボタン 11
- メニュー、使用 15

- ゆ
- ユーザ オプション Web ページ
 - アクセス 52
 - および電話機サービス 54

- よ
- 呼出音
 - カスタマイズ 45
 - ~のインジケータ 12
 - ~の音量 45

- り
- リダイヤル 18
- リモートで使用中のアイコン、共有回線の履歴 34
 - 削除 48
 - ~で表示してダイヤル 48

- わ
- 割り込み
 - および共有回線 34
 - およびプライバシー 36
 - 使用 35

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar, Aironet, ASIST, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity, Empowering the Internet Generation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers のロゴ、Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StrataView Plus, TeleRouter, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



Java ロゴは、米国または一部の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501